

令和4年度第2回三条市幼児教育推進会議録（概要）	
日 時	令和4年9月30日（金）14：00～15：40
会 場	市役所栄庁舎3階 大会議室
出席者	<p>委 員：中野会長、渡辺副会長、唐沢委員、村田委員、石塚委員、 加々見委員、小塚委員、刈屋委員、矢坂委員 （欠席委員）本間委員</p> <p>事 務 局：栗林教育部長 子育て支援課…平岡課長、相場子どもの育ちサポートセンター長、 伊藤主任、竹中幼保小連携推進員</p> <p>報道機関：なし 傍 聴 者：なし</p>
会 議 内 容	
中野会長	<p>【開 会】 定刻となり、これから令和4年度第2回幼児教育推進会議を開催する。</p>
栗林部長	<p>【挨拶】 本日はお忙しい中、令和4年度第2回三条市幼児教育推進会議に御参集いただき、また日頃から当市の幼児教育施策に御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げたい。</p> <p>さて、本日は三条市幼児教育推進プラン（第3次）についてを議題とし、これまで、7年間の実施期間として取り組んできた第2次プランの総括、当市の子どもの現状、8月に実施した3次プラン策定に係る保護者や保育士等のアンケート結果、第3次プランの骨子や施策構成の考え方などについて説明させていただく。</p> <p>今年度中の第3次プラン策定に向け、日々、幼児教育の現場などで子ども達と向き合っておられる委員の皆様から、忌憚のない様々な御意見を頂戴できればと考えており、よろしくお願い申し上げます。</p>
相場センター長	<p>【出席者数、資料の確認】 10名の委員の内、9名の委員が出席となっている。三条市幼児教育推進会議要綱第6条第2項の規定により半数以上の委員の出席があり、本会議は成立している。</p> <p>資料の確認 （当日配付分、事前送付付差替え分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第2回三条市幼児教育推進会議次第」 ・「幼児教育推進会議委員名簿」「座席表」（両面印刷）

	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児教育推進プランの総括」 資料 1 ・「三条市の子ども現状」 資料 2 ・「幼児教育推進プラン策定に係る保育者等アンケート結果」 資料 3 (別紙 1～3 含む) ・「幼児教育推進プラン（第 3 次）骨子」 資料 4 (別紙含む) ・冊子「三条市幼児教育推進プラン（第 2 次）概要版」 ・第 1 回会議録
中野会長	議題(1)三条幼児教育推進プランの総括について事務局より説明を願う。
平岡課長	【議題(1)三条市幼児教育推進プランの総括について】説明
唐沢委員	【質疑・応答】 「幼児教育推進プラン策定に係る保育者等アンケート結果」について 1 点お聞きしたい。自信のある保育の実施に関わって、保護者は園の先生に「信頼しています」と言っているのに、保育者は「信頼されているとは思わない」という信頼度についての差は何か。保育者が「信頼されています」と答えない理由をどのようにお考えか。またそれをなんとかするために、研修を強化していこうというよりも、他のやり方はないものか。
平岡課長	この結果をどう捉えているかという、個人の考えや私情に基づくものであるため一概には言えないことが前提条件としてある。その上でプランを策定する時、この乖離をいくらかでも押さえていくとすれば、やはり自信をもってもらうこと。自信をもって保護者から信頼される保育をしてもらうことである。そのためには、自分の力、力量を身に付けていくことを考えていかなければならない。加えて、日頃の保育の実践に対し上司、先輩保育士が保育について良かったことを日常からクラス担任に伝えていくことが、自信のある保育につながっていくと捉えている。その上で保護者との関係性を構築していきたい。
唐沢委員	私も上司として、子ども達の姿に成果が見られたと、プラスな声かけをするよう努めているつもりなので、共感できる場所はある。しかし、自己肯定感が低い職員に対して、しっかりできるためには力をつけなければという迫り方は違うのではないか。
中野会長	アンケートの答え方で「まあまあそう思う」を入れると、あまり差がない

<p>平岡課長</p>	<p>ように感じる。保育者の謙虚さもあるのではないか。自己肯定感やりがい いかに高めていくことが課題ではないか。</p> <p>ご指摘の通り、認められることによって自信がついていく。認められるため、いい保育をするために専門的知識を身につけていくことがその先にある。プランを作っていくにあたり捉えたところもあるし、何よりこの結果には驚いており、なぜこうなったかを考えると、年齢構成も示したが、推測すると若手 20～30 代の保育士が増えていることに伴っているものと思う。</p>
<p>渡辺副会長</p>	<p>現場にいて感じることで、今の保育者は非常に求められることが多い。そうすると、やはり自信をもって保育をしていても「こうした問題が社会で起きました、こうしたことに気を付けて取り組んでいきましょう。またこうしたことが起きました気を付けて取り組んでいきましょう。子ども達を安全に」となった時に、自分の保育を振り返る。そうしたときに自信が揺らいでくることが多々ある現状である。若い方であればあるほどそういう思いに駆られるのではないかと結果を見て感じさせられた。</p>
<p>村田委員</p>	<p>保育の質を上げるための三条市の研修体制はありがたい。特に発達支援コーディネーターというのは、すごく有益な部分が多いと感じている。ただ発達支援コーディネーター 1 人に係る業務量が過密になってくる。2 年に 1 度コーディネーター養成研修があるが、そういった専門知識を学べる機会を増やしていただくと現場としては大変ありがたい。個別発達支援計画を立てる若い人をはじめ、全ての職員が同じような知識をもっていければいい。</p> <p>カリキュラムマネジメントも現場に必要な事であり、園内でも語り合う時間をもちたいと思うが、なかなかできない現状である。</p>
<p>中野会長</p>	<p>資料 3 の園内研修で身に付けたい力のことだと思う。外部の研修ももちろんであるが、園の中でどんなことをやっていくか。研修で身に付けたいこととして、子どもの理解と子どもの見取り方が高いが、実際の子どもの姿を見ながらの見取り方や関わり方についてのカンファレンスなどを行う時間をどう確保できるかが課題になってくる。その中で相談できる園内での研修体制をいかに拡充していくか、時間的にも金銭的にも、空間的にも物的にもどう構築していくのかが課題になる。</p> <p>更に保育士の 20～30 代の保育士の割合が多く、6 割以上、4 人中 3 人は若手の方で、ベテランの方が 3 割となると、若い年代でミドルリーダーとしての役割と見なされてしまう。いつまでも新人ではなくて組織としてどう関わ</p>

	<p>っていくか、園の中で育てていくことも課題となる。園全体の動きなどにも関与できるように、カリキュラムマネジメントを参考にしてもらおう場をいかに且保していくのか、円滑に今までの先輩が築いてきた知見をいかに若い方に引き継いでいくかだと思う。施設長や主任も業務量が多いので、副主任クラス層を育てることで手厚くしていくことが、継続的に保育の質を向上させていくためには重要である。</p>
石塚委員	<p>保育の質を上げるという点で、若手を育てることは大切だと思っていた。園内研修が充実できるように主任とも相談しながら工夫をしているが、実質時間が取れないこともある。保育の発信をして家庭にも保育者の保育について見てもらって、またそれを題材として園内研修にするとか、見取る力をつける等、力を底上げしていくことで保育の質を上げていけるように力を入れている。</p>
小塚委員	<p>子どものことを安心してお願いしている。先生方は日々子どものために頑張っているし信頼していると思っていることが、こちらからよく伝わってなかったと思うと申し訳ない。保育園の先生には本当にお世話になっている。</p>
加々見委員	<p>私も先生には感謝している。子どもは若い先生が好き。パワーがある。先生の目指すものがあって一生懸命やっただいてに親としては感謝しかない。</p>
唐沢委員	<p>今のことに関わるが、学校も同じで、若手の先生が増えて経験の足りない方、それが学校では前提となっているが、若い先生だからこそできることもある。たとえば ICT を使った教育活動とか、子どもと合うところは逆に学ばせてもらっている。力がないから力をつける研修というより、研修体制も見直す必要もあると思う。若手だからできること、それが教育であり、優劣は無いと思っている。</p>
平岡課長	<p>答え方については、職員の謙虚さが表れていると思いたい。だからこそ、もっともっと自信をもっていくために専門知識等を身に付け、日常の保育において上司、先輩からもより良く見てもらう場を作っていく必要があるのではないかと。</p>
唐沢委員	<p>8 ページ「家庭への支援の充実」の家庭教育講座についてお聞きしたい。参加者から講座回数を増やしてほしいなどの声が上がっているとあるが、</p>

	<p>学校現場ではいろいろな設定をしても、保護者の方に来ていただけない状況である。保護者のニーズに合わせた内容とあるが、どんなニーズがあるのか開催方法等教えてほしい。</p>
伊藤主任	<p>家庭教育講座は、幼児期の3歳時(入園児)に行っている。子育てや子どもとの関わり方についての講座と眠育についてという2つのものから選んでもらって開催している。子育て講座に関しては、子育ての不安を感じている保護者から、関わり方のヒントを得られたという声や継続して行ってほしいという要望等を聞きながら開催している。</p>
唐沢委員	<p>保育所、保育園の保護者は関心が高く、自分でなんとかしなければならないという親の気持ちなのだと思う。それを小学校につなげたい。</p>
中野会長	<p>PTAの総会時や、代表委員会や行事等で、父親に来てもらうための設定も考えられる。他はいかがか。</p>
中野会長	<p>それでは、議題(2)令和3年度三条市幼児教育推進プラン実施状況について事務局より説明を願う。</p>
平岡課長	<p>【議題(2)令和3年度三条市幼児教育推進プラン実施状況について】説明</p> <p>【質疑・応答】</p>
唐沢委員	<p>感染症拡大防止で様々なことができなかつた中、できなかつたことで子どもの育ちとして不十分だと思っていることは何でしょう。それを受けて、状況が改善された中で、本当に力を入れてできなかつたことに力を入れて頑張っていこうという考え方はできないか。総括の中に子どもの育つ環境が本質的に密になる。保育所、幼稚園は密な環境である。この感染症状況下の中で、子どもの育ちに影響を与えている部分がある。その部分を総括せずして新しいプランはできないと思う。そこが反映されないことが残念である。</p>
平岡課長	<p>委員ご指摘の通り、今般の長引く感染症によって、子どもの幼児教育、保育の環境は密であることが基本になるのに、この感染症禍において避けなければいけない。そんな中での取組として、取組や開催方法、工夫を凝らし実施していく。振り返りの項目等、保育の本質的な密にさせてあげたい部分をどう担保していくかについて触れていきたい。</p>

中野会長	<p>幼児期の本当の豊かな遊びがコロナ禍で制限されてしまった。そのためどう充実させていけばいいのか、従来はできていたこと、したかったことをするためにも、遊び、豊かな体験に伴う遊びを充実させ、そのための支援や援助をどうやっていけばよいかということではないか。</p>
唐沢委員	<p>それぞれの現場でこんな子どもの育ちに非常に危機感を感じるという聞き取りや、現場の子どもを見て、3年続いているわけで、どんな影響があるのかという現状を知るべきではないか。そのための何か施策はないか。</p>
平岡課長	<p>実際この3年間コロナ感染が起きなかった場合と起きた場合の比較が、なかなかしにくいところである。他方でご指摘の通り、実際密になれない環境がずっと続いてきたという事実もあり、これによってこどもの行動がどう変わったか、いろいろな角度で心配していた。様々な工夫をしつつ、感染症対策などに配慮しつつ進めてきていて、今後プランの中で、ご指摘いただいている部分について触れていきたい。</p>
中野会長	<p>資料2に戻りますが、気になるのが一人親家庭の増加で、資料4を見ていくと、保育士や保育所、幼児教育担当者や施設がどう関わっていくかについてとある。そういった家庭に対しての困りごとの相談を、社会の関係機関につなげていく視点、スクールソーシャルワーカー的視点で、保育所がやるというよりは、生活全般の相談できる窓口、相談できる先、相談してからの連携体制の整美等をご検討いただければありがたい。</p> <p>もう1点、職員の資質と専門性の向上を研修会でというよりは、望ましい姿がどんな視点として考えられるか、各保育所で検討していくやり方もある。そして市では園内研修についての支援をすることも大事である。</p>
平岡課長	<p>1点目、家庭環境に応じた対応、支援をどうしていくか、保育所、保育園、認定こども園を所管し一人親への支援を課内でやっている。更に子どもの育ちサポートセンターで様々な気になる子の支援を行い、子ども施策を一括して当課でやっている。その中での連携をより一層密にしていきたいと考える。</p> <p>2点目、研修の方策について、望ましい視点を盛り込んだ自主研修の支援について、御意見をいただけたらと思う。</p>
中野会長	<p>課内だけでということもあるのが、福祉部局も関わってくる。生活保護や就業支援もありうるので、その辺り市での連携ができるようにしてほしい。</p>

平岡課長	<p>一番の窓口になるのではないか。</p> <p>それでは、質疑も出尽くしたようなので、次に「その他」について、事務局より説明を願う。</p> <p>委員の皆様から、様々な御意見をいただき、ありがたい。本日いただいたご意見を踏まえ次回は、新プランの具体的な取組内容についてお示しできればと考える。次回の会議は、11月中の開催を予定している。日程が定まりしだい早めに御案内させていただく。合わせて資料についても事前に送付する。よろしくお願ひしたい。</p>
中野会長	<p>今ほど事務局より、説明があったが、次回の開催については、後日事務局から連絡があるので、よろしくお願ひしたい。以上で第2回三条市幼児教育推進会議を閉会する。</p> <p style="text-align: center;">【 終 了 】</p>